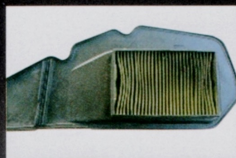


消耗品・定期交換部品の重要性

Honda Dream は、すべてのお客様に常にベストな状態で安心してお乗りいただけるサービスを提供します。

9. エアクリーナエレメント

エアクリーナエレメントはゴミ等がエンジン内部に混入するのを防ぎます。エアクリーナエレメントが目詰まりすると、スピードが出にくくなったり、燃費が悪くなったりすることがあります。また、エレメントが損傷し、ゴミ等がエンジン内部に混入するとエンジンに損傷を与えることがあります。



■交換時期
20,000km 毎 (250cc 以下)
40,000km 毎 (251cc 以上)
(ビスカス式及び乾式)

8. スパークプラグ (点火プラグ)

スパークプラグは強い火花を飛ばして、エンジン内のガソリンと空気の混合気点火をつける役割があります。スパークプラグの電極が摩耗したり、カーボンが堆積するとエンジンがかかりにくくなったり、アイドリングも不安定になることがあります。また、混合気の燃焼が不安定になり、エンジンの故障や燃費の悪化を招くことがあります。



■交換時期 40,000km 毎
(白金及びイリジウム・プラグのみ)

7. エンジンオイル

エンジンオイルはエンジン内部の作動をスムーズにし、冷却、洗浄、錆を防ぐ役割があります。エンジンオイルは燃焼の際に発生したススなどにより汚れていきます。また、車両に乗りながらも、空気に触れることで酸化していきます。そのため、交換をせずに使用続けるとエンジンからの騒音が大きくなり、エンジンの寿命を縮めることがあるため、距離や期間に応じて定期的な交換が必要です。



■交換時期
初回 1,000km または 1 ヶ月 以後 車種毎に異なります。

1. ブレーキフルード (ブレーキ液)



ブレーキフルードはブレーキレバーを握った力をブレーキパッドに伝える役割をしています。ブレーキフルードは空気中の水分を吸収しやすい傾向があるため、交換をしないと、沸点が低下します。沸点が低下すると、ブレーキフルードは沸騰しやすく、エアが入った時と同じ状態になり、ブレーキの効きが悪くなることがあります。また、構成部品が錆びてブレーキが効きにくくなることがあります。

■交換時期 2 年毎

2. クラッチフルード (クラッチ液)



クラッチフルードは、ブレーキフルードと同じものを使用しており、クラッチレバーを握った力をクラッチへ伝える役割をしています。クラッチフルードも空気中の水分を吸収しやすい傾向があるため、交換をしないと、沸点が低下します。沸点が低下すると、クラッチフルードは沸騰しやすく、エアが入った時と同じ状態になり、クラッチの切れが悪くなることがあります。最終的には、クラッチが切れず、発進できなくなることがあります。また、構成部品が錆びても同じ症状が発生することがあります。

■交換時期 2 年毎

3. クーラント (冷却水)



クーラントはエンジンを冷やして、エンジンを適切な温度に保ちます。また、エンジン内部を錆から防止したり、水と比べ、凍りにくくなっています。クーラントを交換しないと、防錆性能が低下し、錆の発生を招く恐れがあります。また、クーラントが凍ってしまえば、最悪の場合、エンジンの故障を招くことがあります。

■交換時期
初回 5 年目 以後 4 年毎

4. タイヤ

タイヤには 4 つの役割があります。

1. 車体やライダーの重さを支える
2. 衝撃を和らげる
3. 路面に力を伝える
4. 進みたい方向へ車体を導く

タイヤは走行距離が伸びると溝が少なくなり、雨天走行時に排水ができなくなります。また、走行距離が伸びなくても、タイヤは硬化していくので、そのまま使用するとグリップ力が低下し、最悪の場合、転倒につながる可能性があるため、定期的に点検した上で交換が必要です。



6. オイルフィルター

オイルフィルターはエンジンオイルがエンジン内部を流れる際に集めてきた細かいゴミを取り除く役割があります。オイルフィルターがゴミで目詰まりし、汚れたオイルがエンジン各部に送られると、最終的にはエンジン損傷につながる可能性があります。



■交換時期
初回 1,000km または 1 ヶ月 以後 20,000km 毎 (カートリッジタイプ)
初回 13,000km 以後 12,000km 毎 (カートリッジタイプを除く)

5. ブレーキパッド

ブレーキパッドはブレーキディスクを挟んで制動力を発生します。ブレーキパッドが摩耗し、規定値を超えて使用すると、ブレーキディスクを損傷してしまうため、規定値を超える前に交換が必要です。

